

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06186702 A

(43) Date of publication of application: 08.07.94

(51) Int. Cl.

G03C 7/34
G03C 1/14
G03C 1/83
G03C 7/392

(21) Application number: 04338605

(71) Applicant: KONICA CORP

(22) Date of filing: 18.12.92

(72) Inventor: FUJIWARA HIROKO
HIRABAYASHI SHIGETO

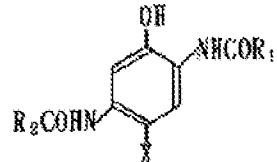
(54) SILVER HALIDE COLOR REVERSAL
PHOTOGRAPHIC SENSITIVE MATERIAL

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To obtain the silver halide color reversal photographic sensitive material high in sharpness and sensitivity and maximum density by incorporating a silver salt of a dye in one of photographic constituent layers and a specified cyan coupler in one of those.

CONSTITUTION: This color reversal photographic sensitive material has the photographic constituent layers including red-, green-, and blue-sensitive silver halide emulsion layers on a substrate, an at least one of the constituent layers contains at least one kind of the silver salt of the dye and at least one of the constituent layers contains at least one of the cyan couplers represented by formula in which each of R₁ and R₂ is alkyl, aryl, aralkyl, or the like, and each optionally substituted; and X is H or a group to be released by reaction with the oxidation product of a developing agent. The silver salt of the dye is a silver salt or a silver complex formed by reaction of the dye with the silver ions and the dye is an organic compound having absorption in the visible spectrum.

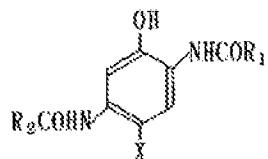


【特許請求の範囲】

【請求項1】 支持体上に青感性ハロゲン化銀乳剤層、緑感性ハロゲン化銀乳剤層、および赤感性ハロゲン化銀乳剤層を含む写真構成層を有するハロゲン化銀カラー反転写真感光材料において、前記写真構成層の少なくとも一層に、染料の銀塩の少なくとも一種を含有し、かつ前記写真構成層の少なくとも一層に下記一般式【C-1】で表されるシアンカブラーの少なくとも一種を含有することを特徴とするハロゲン化銀カラー反転写真感光材料。

【化1】

一般式【C-1】



(式中、R₁およびR₂は各々アルキル基、アリール基、アラルキル基、アミノ基を表し、これらはさらに置換基を有するものも含む。Xは水素原子または現像主葉の酸化体との反応により離脱しうる基を表す。)

【発明の詳細な説明】

【0001】

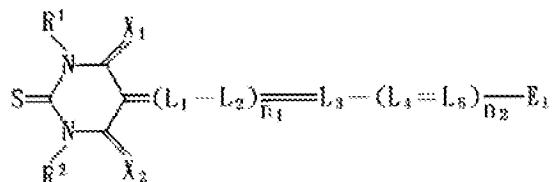
【産業上の利用分野】本発明はハロゲン化銀カラー反転写真感光材料に関し、さらに詳しくは、鮮銳性が高く、高感度で最高濃度の高いハロゲン化銀カラー反転写真感光材料に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ハロゲン化銀カラー写真感光材料において、画像鮮銳性を向上させるためにハレーション防止層やフィルター層のような着色層を設けることはよく知られている。このような着色層は多くの場合水溶性染料を含んでいるが、これら公知の染料は写真化学的には完全に不活性でないことが多く、写真材料の感光性層にしばしば有害な影響、すなわち感度および最高濃度の低下をもたらした。

【0003】また、当業界においては、近年益々高画質のハロゲン化銀カラー反転写真感光材料が望まれている*

一般式【I】



【0014】(式中、R¹、R²は水素原子、アルキル基、アルケニル基、アリール基、複素環基を表し、X₁、X₂は酸素原子、硫黄原子を表す。L₁～L₅はメチル基を表し、n₁、n₂は0～2の整数を表す。またE₁

本が、特に、ハロゲン化銀カラーフィルム等写真感光材料の画質、特に鮮銳性の低いことが問題となっている。

【0004】そこで、水溶性染料を多量に含有させることにより画像の鮮銳性の改良を試みたが、本発明者らの実験によると乳剤層の感度低下が著しく、最高濃度の低下が大きく、生保存性が劣化し、さらに画像の鮮銳性の改良効果も小さいことが明らかになった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的は、鮮銳性が高く、高感度で最高濃度の高いハロゲン化銀カラー反転写真感光材料を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の上記目的は、下記ハロゲン化銀カラー反転写真感光材料によって達成された。

【0007】支持体上に青感性ハロゲン化銀乳剤層、緑感性ハロゲン化銀乳剤層、および赤感性ハロゲン化銀乳剤層を含む写真構成層を有するハロゲン化銀カラー反転写真感光材料において、前記写真構成層の少なくとも一層に、染料の銀塩の少なくとも一種を含有し、かつ前記写真構成層の少なくとも一層に前記一般式【C-1】

【化1】で表されるシアンカブラーの少なくとも一種を含有することを特徴とするハロゲン化銀カラー反転写真感光材料。

【0008】以下本発明について詳述する。

【0009】まず、本発明の染料の銀塩について説明する。

【0010】本発明において、染料の銀塩とは染料と銀イオンとの反応により形成される銀塩および銀錯体を表し、染料とは可視スペクトル(380～700nm)に吸収を有する有機化合物を表す。

【0011】以下に本発明において用いられる染料の銀塩を形成しうる好ましい染料について説明するが、本発明はこれらに限定されるものではない。

【0012】上記染料としては下記一般式【I】～【V】で表される染料を挙げることができる。

【0013】

【化2】

は酸性の核を有する基を表す。)

【0015】

【化3】